

最新版：8月以降のカリキュラムと11月、12月の日程に変更がございます。

後継者育成塾は、自身の後継者を育成する力、自社の後継者を育成する仕組みを作る力を身に付ける「マネージャー育成研修」「指導力向上研修」です。

平成30年5月開講 後継者育成塾 全10コース受講生募集

一般に「部下をもつ」ということは、「自分で動き、自分で成果を出す」働き方から、まったく異なる「他人を動かして職場の成果を出させる」働き方にシフトチェンジするということです。それは、まさに「ゼロからのスタートであり、「生まれ変わり」に等しいほどの大変化です。

それほどまでの大きな変化であるにも関わらず、多くの人は「部下の育て方」について、何も教わることなく、現場に放りだされます。自らの経験から「部下は現場で自然に育つもの」「仕事はやりながら覚えるもの」だと思い込んでいる方もいらっしゃいます。

しかし、実際に「他人を動かして成果を出させる」ことは、一筋縄ではいきません。他人は自分のように動いてくれないのです。なぜなら「他人」は「自分」ではないからであり、自分と他人は違うからです。ゆえに他人である部下を「動かすこと」や「育てること」をなすためには「スキル」が必要なのです。

※フィードバック入門 東京大学準教授 中原淳著 より

後継者育成塾はラボラトリトレーニング研修です。正解がない体験を繰り返し、その体験を振り返ることで、そこから自分が気づき、自社で活かす方法を考えるプロセスをたどります。人は元々持っている能力を稽古訓練することで自由に使いこなすスキルに変えることができます。しかし、職場でスキル化することは非常に難しいことです。後継者育成塾では自社の発展と働く一人一人の成長がどう経営数字につながるかの組織学を学び、他者との関わり方、育て方を学びます。その上でマネージャーとして一番大切な「仕事の任せ方」と部下にどのように伝えるかの「言葉がけ」の実践を通し、徹底的にマネージャーとしてのコミュニケーション能力を強化します。マネージャーとのコミュニケーションに恵まれると現場は一層、力を発揮でき、意欲の向上が企業発展につながります。気づいた時には引き継ぐ人がいなかった、新しい事業を進めたいが、その能力をもつ人がいない、と慌てる前に、10年後の自社の発展のために、今！取り組みをスタートさせましょう。

- ◇ 全研修受講で会員 97,200 円⇒75,000 円（税込）、一般 145,800 円⇒120,000 円（税込）
- ◇ 単コースでの受講も可能ですが、その場合、割引はございません。
- ◇ 講師手配の都合上、お申込み1週間～4日前50%、3日前80%、前日当日100%のキャンセル料を頂戴します。
- ◇ 交流も研修と考えています。ぜひ、交流にもご参加いただけるよう、企業様のご理解を願いたします。



遠野高等職業訓練校

職業訓練法人遠野職業訓練協会

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 8-1-8 TEL0198(62)6310 FAX0198(62)6366
URL/http://www.tono-vts.ac.jp/ E-mail/info-tonovts@tono-vts.ac.jp

◎研修詳細 ※全日程 9:00～17:00 (計 16 時間) 全講習定員 16 名 会員 10,800 円 (税込) 会員外 16,200 円 (税込)
 全研修受講で会員 97,200 円を⇒75,000 円 (税込)、一般 145,800 円⇒120,000 円 (税込)

ステップ1 5月8日(火)～5月9日(水)開講 管理職に必要なマネジメント能力育成研修	ステップ2 6月12日(火)～6月13日(水)開講 管理職に必要な企業会計、財務分析研修
<p>有限会社キャリアスケープ 代表 小野田博之 氏</p> <p>管理職に一番必要な力、それは人を動かす力、人を育てる力です。企業を存続させるためには、人をつなぎ、仕事をつなぐことが大切です。管理職になるためには、どんな能力が必要で、どんな取り組みが必要なのかを深め、管理職につながる行動、取り組みにつなげます。</p> <p><カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職とは何をする人なのか 管理職の役割を理解する ・管理職の役割を果たすために必要な能力を理解する ・マネジメントの基本であるマネジメントサイクル (Plan-Do-See) と、それを実行するための「目標による管理」について検討する ・部門のメンバーが適切な目標を持ち、その達成に注力し、かつそのプロセスを通じて成長できるようにするために、管理職として何をするか理解する 	<p>税理士法人福永会計事務所 所長税理 佐藤清生氏</p> <p>管理職はもちろん、あらゆる部門の社員が会社の数字の基本を押さえていることは、厳しい競争に打ち勝つための企業の大きな底力となります。会計・財務の理解を深め、決算書を読み解き①安全性②収益性③成長性④生産性⑤流動性を意識して仕事に活用するための研修です。</p> <p><カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業会計の基礎知識 (財務 (制度) 会計、管理会計等) ・財務諸表について (貸借対照表、損益計算書、変動損益計算書、キャッシュフロー計算書、株主資本等変動計算書) ・財務分析を通して企業を理解する必要性の理解 ・企業防衛 (人的リスク対策) ・マイナンバー制度について ・企業会計の今後の発展性について
ステップ3 7月10日(火)～7月11日(水)開講 管理職に必要な意識、考え方、自己プランニング力育成研修	ステップ4 8月7日(火)～8月8日(水)開講 管理職に必要なコミュニケーション研修 (アサーション基礎)
<p>倉本モーターズ代表取締役社長 倉本栄志氏 (4日)</p> <p>遠野テレビ報道総務統括マネージャー 佐々木浩章氏 (5日)</p> <p>岩手県在住の現役の経営者であり、経営コンサルタントの経歴を持つ講師が担当。働くということをも自分がどう捉えるのかという意識・思考に働きかける講話や参加者のディスカッション、企画塾の人生企画のワークを通し、自分が望む職業人生をおくる上での課題の明確化、取り組みの明確化を図ります。</p> <p><カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4日:働くとは何かの理解 ・5日:人生企画 (株式会社企画塾) 	<p>遠野職業訓練協会 事務局長 川原恵美※予定</p> <p>コミュニケーションとはトラブルの避け方や、相手を言いなりにさせる方法ではありません。トラブル、いじめ、なくならないものをさける、我慢するのではなく、どう対応するか (マネジメント) を学ぶことが大切です。</p> <p><カリキュラム></p> <p>アサーション・トレーニングをベースにした「考え方」と「伝え方」のトレーニングです。技術だけのどう言うかではなく、コミュニケーションを使って、お互いにどう良好な関係をつくるかを目指します。</p>
ステップ5 9月4日(火)～9月5日(水)開講 管理職に必要な問題解決コミュニケーション研修 (アサーション実践)	ステップ6 参加無料! 10月9日(火)開講 生きざまを知る座談会 テーマ:リーダーの視点「今の自分になるために、リーダーは何をしてきたのか、3人のリーダーに聴く」
<p>遠野職業訓練協会 事務局長 川原恵美※予定</p> <p>自分の価値観と、相手の価値観が違う、目標に対する考え方が違うなど、職場の中で起こりうる場面を想定したコミュニケーション実践研修です。DESCというセリフ作りの手法を使って、言いにくいことを伝える、相手を動かすコミュニケーションを習得します。</p> <p><カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛藤コミュニケーション体験 ・コミュニケーションタイプの理解 ・自己人権と他人人権の理解 ・捉え方によるコミュニケーションのズレの理解 <p>DESCを使った歩み寄りコミュニケーションの実践</p>	<p>※座談会のみ 13:00～17:00</p> <p>ゲスト)</p> <p>大野ゴム工業株式会社常務取締役 伊藤信一郎氏</p> <p>有限会社オーパーツ代表取締役 及川元一氏</p> <p>株式会社カクタ設計代表取締役社長 角田直樹氏</p> <p>18:30～交流会 (参加費 4,000 円)</p> <p>リーダーと共に語り、研修内容の理解を深めます。 ※事業所様のご理解とご協力をお願いいたします。</p>

◎研修詳細 ※全日程 9:00～17:00 (計 16 時間) 全講習定員 16 名 会員 10,800 円 (税込) 会員外 16,200 円 (税込)
 全研修受講で会員 97,200 円を⇒75,000 円 (税込)、一般 145,800 円⇒120,000 円 (税込)

<p>ステップ 7 11月8日(木)～11月9日(金) 開講 管理職に必要なキャリア開発と人事考課研修</p> <p>有限会社キャリアスケープ 代表 小野田博之 氏</p> <p>管理職として働く前に、一人の人間として自分の働く価値、意味、意義の理解を深め、部下後輩のキャリア開発の必要性、キャリア開発の進め方、人事考課への反映までを理解し実践につなげる研修です。</p> <p><カリキュラム> ステップ1 マネジメントの振り返り) メンバーの能力を高め、部門の目標を達成していくためには、各人が適切な目標を設定し、その達成に向けて取り組むことをサポートしていくことが、管理者には求められることを受け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人事考課の目的の理解 ・ 人事考課に期待するもの、仕組みを検討するポイントの理解 ・ 目標による管理の必要性の理解 ・ 自身、メンバーがキャリア (仕事人生) を考える重要性の理解 ・ 組織人としての発達・成長に関する理論と運用の理解 <p>働く一人一人の葛藤、心情を理解し、成長につなげ、マネジメントするとはどういったことかの理解</p>	<p>ステップ 8 12月3日(月)～12月4日(火) 開講 今求められる支援型リーダーへ、ファシリテーション能力向上研修</p> <p>オフィス今岡 代表 今岡まゆみ 氏</p> <p>メンバーに指示を与え、みんなを引っ張っていくリーダーを指示命令型リーダーといいます。しかし現在、この指示命令型リーダーでは組織が回らなくなってきました。そして今注目を集めているのが他者の力を引き出し大きな成果を上げる支援型リーダーです。最大の特徴はファシリテーションの技術を使い、メンバーが納得の上、成果へ向かうよう支援につなげることです。今研修ではファシリテーションの手法を理解し、支援型リーダーになるための基礎的なスキル、手法を習得します。</p> <p><カリキュラム> ※体験学習による、気づき学習をメインに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション体験、振り返りによる気づき促進 ・ ファシリテーションが必要となる場の理解と必要なスキルの理解 ・ 創造的な成果につながる流れの理解 ・ コンテンツ (題材) とプロセス (関係的過程/グループ内で起こっている人と人との関係的過程、どのように参加しているか、どのように意思決定しているか) の理解 ・ リーダーとファシリテーターの違いの理解と自己およびメンバーのリーダーシップの活かし方 ・ リーダーシップの阻害要因と解決法
<p>ステップ 9 平成 31 年 1 月 8 日 (火) ～1 月 9 日 (水) 開講 プレゼンテーション、ネゴシエーション向上研修</p> <p>遠野職業訓練協会 事務局長 川原恵美</p> <p>プレゼンテーションとは情報伝達手段の一種で、他者の理解・納得を得るための手法です。上司は部下に対し、または上層部に対し、または取引先に対し適に情報を出し、理解・納得してもらい、動いてもらう必要があります。その手法として、説明、説得、交渉、対話、議論、討論などを使い分ける必要があります。最終的には合意つなげ、周囲の理解、納得につなげる必要があるため、今研修では実践的に技法をつかひながら、能力を高めるトレーニング研修です。※アサーションと傾聴をベースとした、専門研修です。</p> <p><カリキュラム> 自分のもっているリソース (資源) を最大限生かすことをテーマに「働きかける」コミュニケーションの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションとは何か、ネゴシエーションとは何かの理解 ・ プレゼンテーションスキルとして <ol style="list-style-type: none"> ①聞き手を引きつける表現力 ②内容の構成 ・ ネゴシエーションスキルとして <ol style="list-style-type: none"> ①大切な傾聴スキル ②反論を受けた場合の受け方 ③DESC の活用 ④合意形成につなげる手だて 	<p>ステップ 10 平成 31 年 2 月 5 日 (火) ～2 月 6 日 (水) 開講 事例ケースによる問題解決研修</p> <p>遠野職業訓練協会 事務局長 川原恵美</p> <p>10 回までの学びをもとに、管理者の未成熟が自社にどのような影響を及ぼすか、自身の問題として考えます。身近にある事例を読み解き、ケースを実際に検討し、メンバーにどういった働きかけ、成長機会、教育機会等のアプローチが効果的か検討します。また、実際に自社のメンバーの成長計画を実際に立案し、自分の役割を明確化していきます。</p> <p><カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントとキャリア開発の振り返り ・ 働きかけの振り返り ・ 内的動機付けの要素の確認 ・ マネジメントサイクルによる担う役目の棚卸 ・ 語り合い「成し遂げたい事」 ・ 事例ケースを使ったメンバーの成長アプローチ検討 ・ 自社のメンバーに対する成長アプローチ検討 ・ 自分自身の理解 (管理者・リーダーとしての自覚の確認) <p>※3 月に修了祝賀会を予定しております。 学びを共有し、さらなる自己発展とメンターの獲得機会として 事業所様にはご理解とご協力いただければと存じます。</p>

⇒管理者に必要な資格取得講習「第 1 種・第 2 種衛生管理者」「職長教育」の日程は、次ページに記載しています。

◎学びを資格に！管理者必須資格です。※全日程 9：00～17：00（計 16 時間）

<p>8月2日（木）～4日（土）開講 第一種衛生管理者・第二種衛生管理者 試験対策講習</p>	<p>平成 31 年 2 月 予定 職長教育と管理者のリスクマネジメント研修 （建設職種以外）</p>
<p>定員 5 名 会員 27,000 円 会員外 32,400 円</p>	<p>定員 15 名 会員 11,124 円 会員外 14,904 円</p>
<p>合同会社渡部俊和事務所 代表 渡部俊和氏</p> <p>常時 50 人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者免許を有する者のうちから労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者を選任し、安全衛生業務のうち、衛生に係わる技術的な事項を管理させることが義務付けられています。</p> <p>8 月に産業文化センターアピオで開催される試験に合わせ、1 週間前に対策講習を開催します。試験範囲が広いので、ピンポイントの講座は受験に役立ちます。</p>	<p>合同会社渡部俊和事務所 代表 渡部俊和氏</p> <p>労働安全衛生法第 60 条により、新たに職長の職務に就く予定の方、職長になった方および監督者は、職長教育を受けなければなりません。</p> <p>今研修は、労働安全衛生法に基づいた「職長教育」に管理者のリスクマネジメント研修を加えた内容です。作業中の労働者を直接指導又は監督している方は、ぜひ受講ください。</p>

◎スペシャルな講師陣



有限会社キャリアステップ
 代表 小野田博之 氏

経営・人事組織コンサルタント
 厚生労働省委託、中央職業能力開発協会キャリア・コンサルティング各種関係委員会委員
 内的キャリア自覚の深い自律した個人と、社会的ミッションを自覚した組織が、共生関係の中でともに成長、発展することを目的とした経営コンサルティング、組織開発、キャリア開発を行っている。



税理士法人福永会計事務所
 所長 佐藤清生 氏

平成 58 年福永会計事務所入所、平成 11 年に税理士資格を取得。ご自身の体験から「関わった中小企業を成長発展させる」をもとに中小企業の企業防衛活動に積極的に取り組んでいる熱き講師。



株式会社倉本モータース
 代表取締役社長 倉本栄志 氏

大槌町出身。
 大学卒業後、経営コンサルティング会社、(株)船井総合研究所に入社。小売・サービス業を中心に様々な業種業態のコンサルティングを経験し、食肉卸売業へのコンサルティングでは社内随一の実績を残す。2007 年 12 月に船井総研を退職し、現職。



株式会社遠野テレビ
 企画総務グループ兼技術グループマネージャー 佐々木浩章氏

1999 年から日本の企画第一人者と称される高橋憲行氏との関わりを持ち(株)企画塾に勤務、全国の中小企業に対してプランニング及びコンサルタント経験を持つ。



オフィス今岡
 代表 今岡まゆみ 氏

社会保険労務士、キャリア・コンサルタント
 大阪労働局で育児・介護休業法、ハラスメントなどの相談、個別労働紛争に携わる。法的根拠から、自分自身のあり方、対人関係の持ち方、グループダイナミクスについてなどまで幅広い組織支援を行っている。



職業訓練法人 遠野職業訓練協会
 事務局長 川原恵美 氏

現在、遠野市や岩手県より委託を受け、新入社員研修、リーダー育成研修、介護人材育成研修、コミュニケーション能力開発研修等の企画・立案、運営、さらに講師を担当している。

受講申込の際は、こちらの申込書を FAX ください。FAX 0198-62-6366 (添書不要)

受講申込書

平成 年 月 日

遠野高等職業訓練校長 様

貴校の職業訓練を受講したいので、下記のとおり申し込みます。

コース名： _____

期 間： 平成 年 月 日～ 月 日(日間)

会社名			
代表者名	※一般参加の方は、こちらにお名前を記載ください。		
所在地 〒 -	TEL	()	
	FAX	()	
	メール	@	
雇用保険適用 事業所番号			

※修了証を発行するため、受講者の生年月日、住所の記載をお願いします。

	フリガナ 申込者氏名	生年月日	性別	住 所
1			男 女	
2			男 女	
3			男 女	
4			男 女	
5			男 女	

※認定訓練制度を利用した訓練のため、**雇用保険被保険者資格取得等確認通知書（事業主通知用）の写しの添付**をお願いします。（事業主、一般参加の方は、添付の必要はございません。）



遠野高等職業訓練校

職業訓練法人遠野職業訓練協会

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 8-1-8 TEL0198 (62) 6310 FAX0198 (62) 6366
 URL/<http://www.tono-vts.ac.jp/> E-mail/info-tonovts@tono-vts.ac.jp